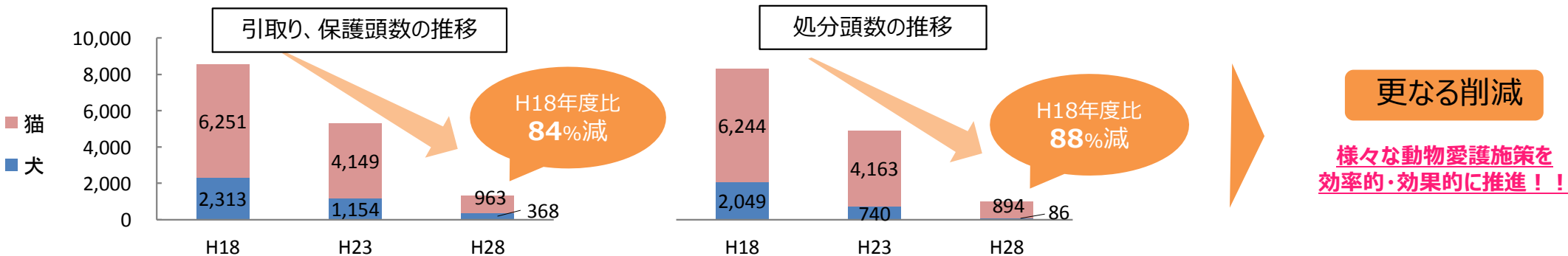


## 対策のポイント

- ・犬猫の適正飼養や終生飼養の普及啓発、望まれない繁殖を防ぐための不妊手術の推進により、引取りや保護される犬猫（収容動物）を減らす。
- ・飼養管理体制を強化し、譲渡を推進することにより、処分される犬猫を減らす。

## 現状



## これまでの取組

## 今後の対応策

川上

### 収容される犬や猫を減らす取組

- 動物愛護教室や講演会等による普及啓発
- 飼い犬・飼い猫の引取りの有料化 (H24.10～)
- 雌猫不妊手術推進事業の開始 (H26.10～)  
H29.12末現在2,518頭の不妊手術を支援
- 市町村窓口での引取りの廃止 (H28～)

川中

### 小動物管理センターにおける動物福祉の取組

- 譲渡用猫舎の設置 (H26.10)
- 収容犬舎の設置 (H28.10)  
可能な限り長く飼うことで、譲渡の機会を確保

川下

### 収容された犬や猫をできるだけ多く譲渡する取組

- 対象動物の幅を拡大、譲渡ボランティア制度開始 (H28.6～)
- ポスターやチラシの配布等による譲渡動物の広報

### ★啓発等による収容動物の削減

- 新聞・雑誌を活用した適正飼養の普及啓発・譲渡動物の広報強化【1,787千円】
- 市町村の地域猫活動の普及促進への支援【600千円】  
地域猫活動に関するセミナーの開催、保護者の購入等費用に対する補助
- 雌猫不妊手術の支援頭数の増 (900頭→1,200頭) 【10,517千円】
- 飼い方講習会の休日開催の増【472千円】
- 講演会及び動物愛護教室の開催【550千円】

### ★小動物管理センターの飼養管理体制の強化による動物福祉の推進

- 収容動物の健康状態への配慮  
(獣医師往診の実施【480千円】、犬舎へのエアコン設置【555千円】)
- 委託業務への積極的な関与【765千円】
- 委託業者の人員増

### ★多様な主体との連携・協働等による適正な譲渡の推進

- 収容動物の性質に応じたきめ細かな対応 (職員へしつけ方研修の実施【593千円】)
- 譲渡見学会の休日開催の増
- 譲渡動物への不妊去勢手術等の徹底【6,240千円】
- ミルクボランティアによる離乳前子猫の譲渡体制の構築

動物愛護を総合的に推進する拠点  
(仮称)動物愛護センターの設置へ

川上から川下までの  
動物愛護の取組を抜本強化